

「自分でやってみよう_私の介護史をまとめてみました」雑感

それまで独り暮らしの姉（長女）の面倒をみていた直ぐ上の姉が腰を痛めて入院をしているとの情報を弟から聞き、私が面倒をみることとなった。7月下旬の暑い午後、その姉から手足のしびれが酷くなったとの電話を受け、所轄の消防署に救急車をお願いした。熱中症を疑った。姉を病院に送ったとの連絡を消防署から受け、私の姉との付き合いが始まった。

担当医から姉の症状の説明を受け、2ヶ月間は加療し、その後の独り暮らしは困難とのことで、老人ホームに入居するしか選択肢がないと私達は判断した。それまで、要支援1のレベルであったので、期限を待たず、介護レベルの見直しをしていただいて、要支援1のレベルにいただいた。私の介護知識のレベルが低く、全てが勉強になった。老人ホーム紹介センターのメンバーより、老人ホームを見学し、老人ホームを決定したが、本人の入居の覚悟に時間がかかることとなった。ケアマネージャーとの付き合いも始まった。

何はともあれ、今は老人ホームにお世話になっている姉に月数回面会している。徐々に介護のレベルが上がっているのではと感じる今日この頃である